

広報みはま

MIHAMAMA

Sep.2023

9

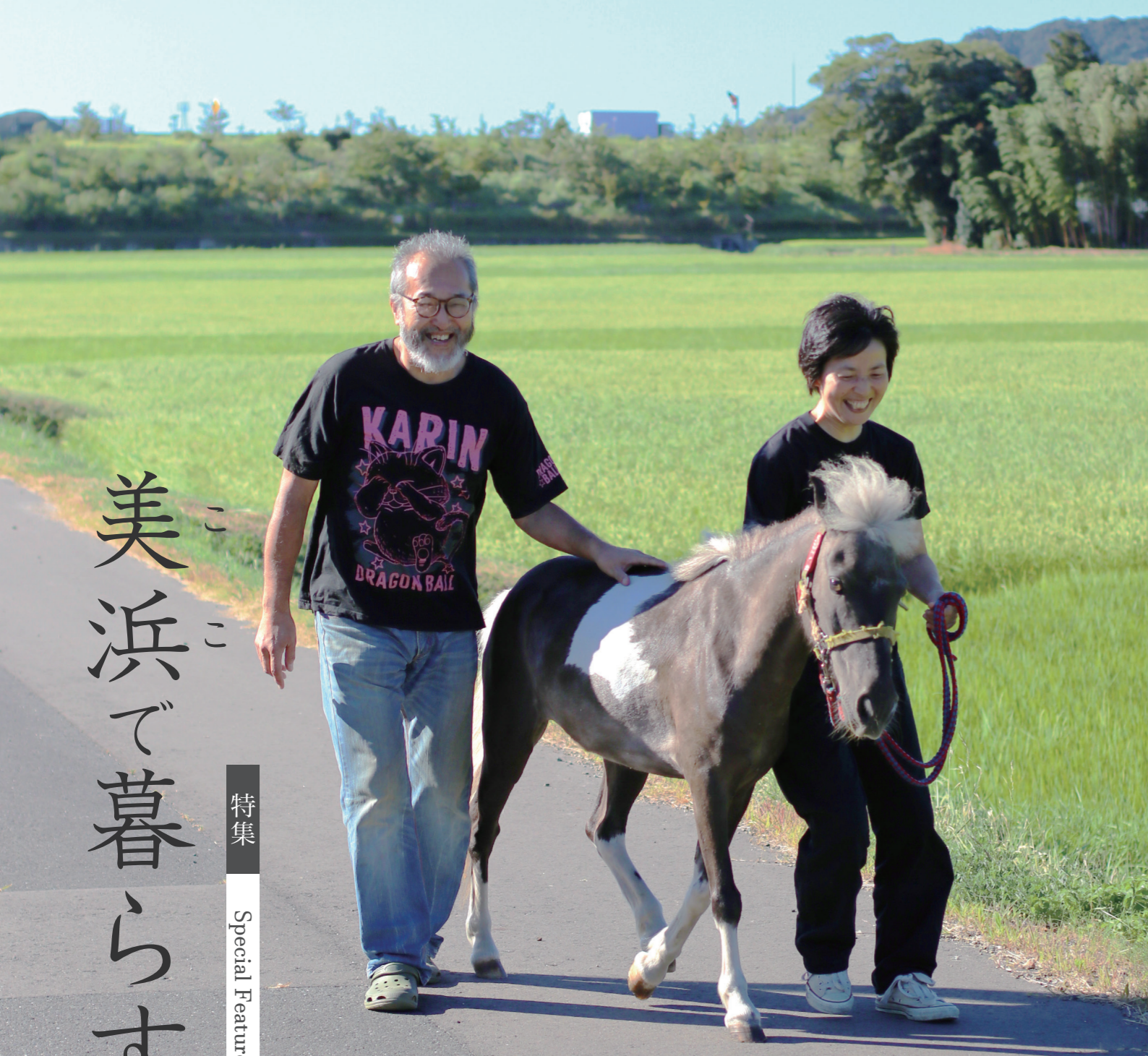
No.632

特集 Special Feature
ここ
美浜で暮らす

近年、全国的に関心が高まっている地方への「移住」。本町にも、町外・県外から多くの移住者が定住されています。

上野に住む山野^{まのり}正憲さん（通称じよんさん）・佐江子^{さえこ}さんご夫婦は、11年前に本町に移住されました。ポニーと暮らすことが夢だったという佐江子さんは、美浜町で開催された空き家マッチングツアーに参加し、上野の住宅に一目惚れ。移住を決めた当時のことを山野さんご夫婦は「他の家（地域）もいいなと思っただけれど、上野のこの家がダントツでよかったですので、即決でした」と話されていました。

今月号の特集では、実際に美浜町に移住された方やその際に地域とのつなぎ役となった方々の体験談を紹介します。



美浜で暮らす

特集
Special Feature

わたしの夢、語ります

浅妻^{ゆうま}優真さん 美浜西小学校 6年（大藪）

得意なことを生かす

私の将来の夢は、ゲームプログラマーになることです。理由は、昔からゲームが好きで、プログラミングにも興味があったからです。

学校の総合的な学習の時間に、プログラミングを使ってゲームを作りました。学校中の人に私が作ったゲームをやらせようと「楽しい」「もっとやりたい」と言ってくれて、とても嬉しかったです。今でもゲームを作り続けていて、友達に遊んでもらっています。

ゲームプログラマーになったら、みんなに楽しんでもらえるゲームを作りたいです。作る私もやる側となって楽しむことができたら、みんなが幸せになると思います。

私は、ゲームプログラマーになるために、ゲームを作り続けることや勉強を頑張っています。外国の人とも力を合わせてゲームを作りたいので、英語の勉強も頑張ります。



CONTENTS 目次 広報みはま2023年9月号

- 2 私の夢、語ります／表紙の写真／目次
- 3 特集 美浜^{ここ}で暮らす
- 8 第43回全日本中学選手権競漕大会
- 10 まちウォッチング
美浜町子ども会ミニバレーボール大会／福井県消防操法大会優勝 他
- 12 みはまシナプスプロジェクト
学びを軸とした次世代まちづくり事業
- 13 情報BOX
水道検針にご協力をお願いします／町から発信される防災情報について 他
- 20 美浜発電所の状況について
- 21 ふるさと昔よもやま話137／文芸欄
- 22 すこやか放送局
- 24 ハートフル広場
はじめてのバースデー／町人さん／慶弔／人口の動き／広報クイズ
- 26 くらしのカレンダー

- 表紙の写真 -



8月2日に、はあとびあで行われた水遊びです。

この催しは、親子で水に親しんでもらおうと、子ども・子育てサポートセンターが毎年企画しているものです。

参加した親子たちは、タライに張った水や水鉄砲等のおもちゃで水遊びを楽しんでいました。

移住者がこの町に移住を決めた訳

移住者 × 地域

良い環境や良い条件が整っていても、良い人と巡り合えなければ移住にはつながりません。

美浜町に移住した人たちは、キーマンとなる人と巡り合い、地域とつながることで移住を決断しました。

地域おこし協力隊として 活動したこの地で



前田 義博 さん=雲谷=

就職を機に兵庫県から移住。現在は、(株)サンガの社員として溪流の里(新庄)の管理・運営を行っている。

小さい頃から生き物が好きで、特に魚には興味がありました。高校を卒業後は、専門学校で魚の飼育や繁殖を学びました。

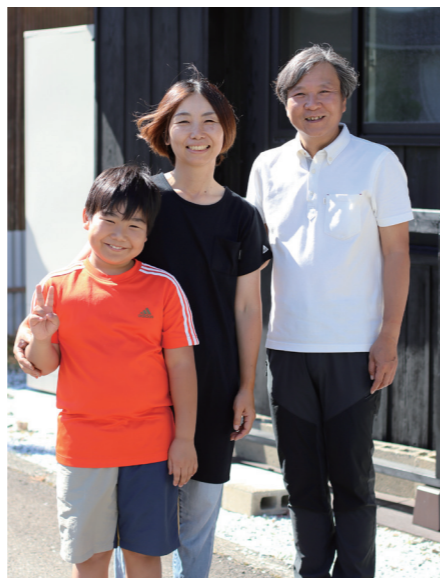
地域おこし協力隊での3年間の活動は終えましたが、任期終了後も溪流の里で働きたいと思い、現在に至っています。自然が相手の仕事なので、大変なことも多いですが、好きなことを仕事にできている今の環境に満足しています。

将来は、魚に関わる仕事がしたいと就職活動をする中で目にとまったのが、美浜町で川の仕事をやる地域おこし協力隊の募集でした。

私が住んでいる雲谷は、夜になるととても静かで、季節によってさまざまな虫や動物の鳴き声を聞くことができそうです。生き物が好きな私にとっては、最高の場所です。

美浜町に来て、初めて食べた溪流の里の魚の美味しさに衝撃を受け、この地の自然の素晴らしさを実感しました。

私に比べて、初めて食べた溪流の里の魚の美味しさに衝撃を受け、この地の自然の素晴らしさを実感しました。



兵庫県から家族7人で移住。現在、康郎さんは単身県外で仕事をしているが、休日は家に帰り、畑仕事にいそしんでいる。

移住なのに『おかえりなさい』と

迎えてくれました

上村 康郎さん(右)、典子さん(中央)、佳和さん(左) 河原市

もともと仕事の関係で、3年ほど美浜町に住んでいました。その間、ドリリンピックやジビエの活動等、自然を生かした体験をさせてもらい、美浜町の魅力を存分に味わいました。

そんな中、子どもたちがボート部に入り、その魅力に引き込まれたことが、移住するきっかけになりました。一度は美浜町を離れ

ましたが、美浜町の空家を購入し、一家で引っ越した時、地域の方に言われた言葉が「おかえりなさい」でした。この地域の人たちは、本当にあたたかい人ばかりだなと思っています。

最近では、畑仕事も楽しく、定年後は畑で自分たちが食べたい四季折々の野菜を自分たちで育てる暮らしもしてみたいと思っています。

松本さんのお隣で

お願いします

上村 佐和さん(左)、杏子さん(右)、八重ちゃん(愛犬・中央) 河原市

隣近所を気にすることなく、愛犬と一緒に暮らせるところを探していたところ、先に美浜町に移住した弟(康郎さん)から美浜町がすごくいいところだと教えてもらい移住を決めました。

その際、松本さんには大変お世話になり、その人柄にも惹かれ、松本さんのお宅の隣の物件を購入しました。松本さんは、地域とのつなぎ役にも



東京都から娘さん、愛犬と一緒に移住。佐和さんは、テレワークで東京時代の仕事を続けている。



松本 芳幸さん=河原市=

更に、最近では康郎さんと佐和さんのように、移住者が移住者を呼んでくれるいい流れができているのではないかと感じています。

移住者と話していると、美浜町の良いところをたくさん言ってくれて、ずっと住んでいると気付けない美浜の魅力を見ました。

住んでいるとなかなか気付けない美浜の魅力を発見

当時は区長をしていて、ふるサボさんから空き家マッチングツアーで紹介できる物件を河原市から出してもらえないかと依頼を受け、空家所有者に連絡を取りました。

その結果、数軒の空家をマッチングツアーに出すことができ、そんな中、上村さんたちとのマッチングに成功しました。

高齢者が多い地域にとって若者の移住はいい刺激に

雲谷は、高齢者が多い地区なので、若い前田君が移住してくれたことで、いい刺激になっていますし、空家だった物件に住んでくれたので、空家の解消にもつながりました。

前田君は、祭りや草刈り等の奉仕作業にも積極的に参加してくれて、本当に助かっています。

前田君がご近所さんと会話をしているのを見ると、地域に馴染んでいるなと感じます。

若い発想でいいアイデアをたくさん持っていると思うので、それらを積極的に実行してもらい、地域に貢献してくれることを期待しています。



中村 俊彦さん=雲谷=

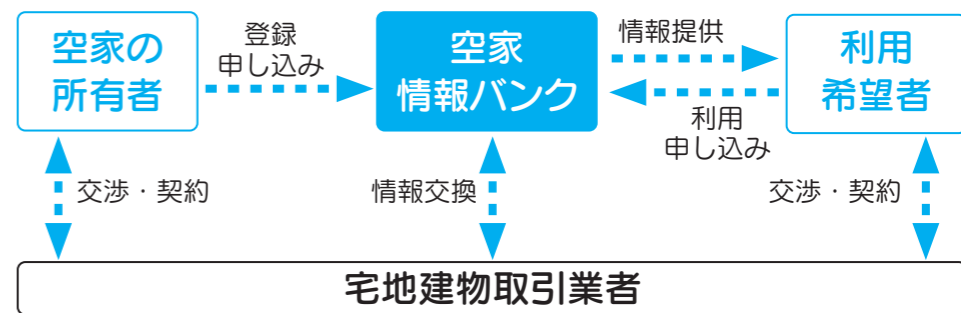
移住者を支える・後押しする制度

移住者 × 住まい

◆空家情報バンク

空家情報バンクは、所有者の方が登録した空家情報を入居希望者へ提供する仕組みです。

登録された空家情報は、町ホームページで公開されており、入居希望者の申し込みを随時受け付けています。



◆空き家マッチングツアー

町では、空家と移住希望者をマッチングするため、空き家マッチングツアーを定期的で開催しています。ツアーでは、空家の内覧にとどまらず、周辺の住環境も確認でき、移住後の生活がイメージできます。



↑ 6月に行われた空き家マッチングツアー（先進地視察として高知県から関係者がツアーに同行）

◆お試し移住体験

山上にある移住居住体験施設「黄舎」は、美浜町に移住を検討している方や就農希望者が美浜町の暮らしを体験できる施設で、1泊2日から利用できます。



↑ 移住居住体験施設「黄舎」

町と空家対策に関する連携協定を締結

移住から定住へ ～空家、移住者そして地域を結ぶ～

NPO法人

ふるさと福井サポートセンター

理事長 北山大志郎

NPO法人ふるさと福井サポートセンターは、空家と移住者をマッチングする団体で、平成24年に設立しました。

活動を始めた当時は、空家と移住者だけをマッチングすれば、空家の解消になると考えていましたが、それでは、定住につながらず、移住者がすぐに違う地域に移住してしまうことに気が付き、地域の関わり的重要性を認識しました。

空家と移住者をマッチングし、定住してもらうには地域にも関わってもらうことで、移住者と地域の双方が安心できます。

移住後に地域から「いい人に来てもらった」、移住者から「ここに移住してよかった」と双方から言ってもらえる活動を目指しています。

ます。

最近では、移住者が移住者と呼び、地域全体が空家をどうにかしないといけないという流れが生まれ、マッチングが成功するケースが増えてきています。

ただ、やみくもにマッチングするのではなく、移住者も、そして移住者を受け入れる地域も、みんなが安心して暮らせるお手伝いをさせていただきます。



↑ 地域に活気を与え魅力を高める活動に取り組み、成果をあげた団体を表彰する「第10回地域再生大賞」を令和2年に受賞（北山氏は前列中央）

山野正憲さん・佐江子さんご夫婦が移住を決断した最後の決め手は、上野の方に言われた「僕がいる限り大丈夫」という言葉でした。

山野さんご夫婦が最後まで不安だったのは、地域に馴染めるかどうか。そんな不安を投げかけたとき、そう答えてくれたそうです。

この言葉を聞いた山野さんご夫婦は、安心して移住し、美浜の暮らしを満喫しています。

現在は先輩移住者として、美浜町への移住を考えている人の手助けをしています。

移住者だから、地元民だからというわけではなく「美浜で暮らす」すべての人が暮らしやすい町を目指すことが、まちづくりの根幹にあるのではないのでしょうか。



特集 Special Feature

美浜で暮らす 完



写真の説明(C:コックス、S:ストローク、3:3番、2:2番、B:ハウ)

- ①男子舵手付きクォドルプルで優勝した美浜中学校(C:千田瑠斗、S:石丸風芽、3:和多田海吏、2:志賀奎太、B:山口佳大)
- ②女子ダブルスカルで3位に入賞した美浜中学校(S:森田心々夏、B:金森有咲)
- ③女子シングルスカル美浜中学校(森山ひまり)
- ④女子舵手付きクォドルプル美浜中学校(C:山本莉子、S:辻原琉衣、3:大西汐莉、2:今村彩華、B:山本咲那)
- ⑤男子シングルスカル美浜中学校(木谷郁斗)
- ⑥男子ダブルスカル美浜中学校(S:大同章成、B:岡部颯斗)



第43回 全日本中学選手権 競漕大会

7月22日、23日の2日間、第43回全日本中学選手権競漕大会が県立久々子漕艇場で開催されました。大会には、全国から199クルー約460人の選手が出場しました。大会前日に行われた開会式では、美浜中学校ボート部男子キャプテンの石丸風芽さんと女子キャプテンの森田心々夏さんが選手宣誓を行いました。美浜中学校は、男女合わせて6クルーが出場し、男子舵手付きクォドルプルで15年ぶりの優勝、女子ダブルスカルで3位の好成績を収めました。

レースの結果は次の通りです。

(関連第25頁)

◆ 女子 ◆

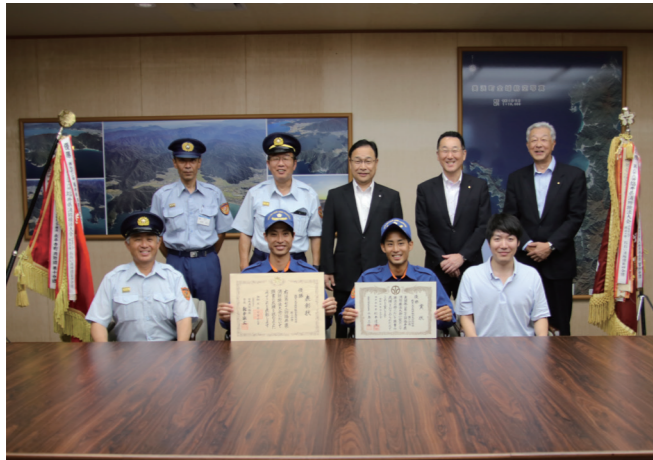
レース種別	着順	クルー名	1,000mタイム
シングルスカル	優勝	琵琶湖漕艇場 BRC(三村)	4:03.96
	2位	ぎふジュニアボートクラブ A(瀬織)	4:16.04
	3位	愛知東郷ボートクラブ A(菊地)	4:16.89
ダブルスカル	優勝	菊池ローイングクラブ A	3:56.58
	2位	河口湖北中学校	3:56.96
	3位	美浜中学校	3:59.93
舵手付きクォドルプル	優勝	入野中 A	3:56.09
	2位	瀬田中学校 A	4:01.52
	3位	丸内中学校 A	4:01.69
総合成績	優勝	琵琶湖漕艇場 BRC	
	2位	瀬田中学校	
	3位	菊池ローイングクラブ	

◆ 男子 ◆

レース種別	着順	クルー名	1,000mタイム
シングルスカル	優勝	琵琶湖漕艇場 BRC A(柴原)	3:46.36
	2位	岡山ジュニアローイングクラブ(駒田)	3:48.95
	3位	戸田中学校(川添)	3:50.27
ダブルスカル	優勝	菊池ローイングクラブ A	3:31.07
	2位	米子漕艇クラブ	3:32.07
	3位	大沢野中学校 A	3:33.73
舵手付きクォドルプル	優勝	美浜中学校	3:26.75
	2位	津幡南中学校 A	3:30.95
	3位	愛知東郷ボートクラブ	3:35.31
総合成績	優勝	瀬田北中学校	
	2位	大沢野中学校	
	3位	鳥取ジュニア RC	



↓優勝を報告した美浜消防団第2分団第7部(山上)の石丸翔一郎長(前列左から2番目)、田邊貴史班長(前列右から2番目)、金田桂汰団員(前列右)



**美浜消防団として初めての快挙
福井県消防操法大会優勝**

7月25日に、第72回福井県消防操法大会の優勝報告会が町役場で行われました。
大会には、ポンプ車操法の部に第4分団第1部(早瀬)、小型ポンプ操法の部に第2分団第7部(山上)が出場し、第2分団第7部が美浜消防団として初優勝を収めました。
報告会で石丸翔一郎長は「支えてくれた家族や消防署員のおかげでいい結果を残せた」と話されていました。

↓開会のあいさつをする戸嶋町長



**新庄・高島間の道路整備を目指して
道路整備促進期成同盟会総会**

7月29日に、福井県美浜町・琵琶湖北西地域道路整備促進期成同盟会の総会がはあとびあで開催されました。
この同盟会は、新庄地区から滋賀県高島市マキノ地区までの道路整備を目指すもので、原子力災害時の避難道路や県境をまたぐ交流促進等の効果が期待されています。
総会後には、原子力防災をテーマとした基調講演が行われ、参加者は同道路の必要性を再確認していました。

↓鋭いアタックを打ち込む子どもたち



**夏の暑さにも負けない熱戦
美浜町子ども会ミニバレーボール大会**

7月17日に、美浜町子ども会ミニバレーボール大会が総合体育館で開催され、各地区の子ども会から合計17チーム、約160人が参加しました。
子どもたちは、日頃の練習の成果を発揮し、息の合ったチームプレーを披露していました。大会結果は次のとおりです。

男子の部	優勝 南市レッド★スターズ メン	準優勝 佐田坂尻ファイターズ	第3位 啓成C
女子の部	優勝 東4区 best memories	準優勝 クタ子レインボースマイル	第3位 佐田坂尻S・SEVEN GIRLS
混合の部	優勝 南市レッド★スターズ ミックス	準優勝 新庄マウンテンファイターズ	第3位 郷市ビーフジャーキー



まちウォッチング
atching



↓啓発活動を行う三方五湖水面等利用協議会員たち



**安全・安心な水面利用を
三方五湖水面等利用協議会啓発活動**

8月5日に、三方五湖水面等利用協議会員等による啓発活動が三方五湖周辺で行われました。
この活動は、プレジャーボート等の安全航行や事故防止を図るため、三方五湖水面等利用協議会が企画・実施したもので、会員等約40人が参加しました。
会員たちは、マリン事業を営む事業者等に啓発物を配布し、安全な湖面利用を呼びかけていました。

↓代表で認定書を受け取った山本孫実さん(中央)



**安定した農業経営を目指して
農業経営改善計画認定書交付式**

8月8日に、農業経営改善計画認定書の交付式が町役場で行われました。
同計画は、効率的で安定した農業経営を目指して農業者が作成しているもので、町からの計画認定によりさまざまな支援措置が受けられます。
計画期間は5年間で、今回再認定を受けた山本孫実さん・朝子さん(家族協定)は2回目の更新となりました。

↓栗谷正光さん(雅号:大雲道人)(中央)と入賞作品「露堂々」(右)



**だるま絵を通じて禅の心を味わってほしい
ル・サロンで10回連続入選**

7月12日に、世界公募展ル・サロンで10回連続入選を果たした栗谷正光さんが町役場で受賞を報告されました。
この公募展は、世界最古の公募展で、世界各地から多くの作品が集まる美術の登竜門となっています。
この日は、10回連続入選を記念し作られた全入選作品収録の作品集が町に寄贈され、栗谷さんは「だるま絵を通じて禅の心を味わってほしい」と話されていました。

↓竹灯籠を制作した佐田伝統文化保存会の中道健三会長(左)と美浜東小学校の児童たち



**佐田伝統文化保存会から美浜東小学校へ
カッパのイラスト入り灯籠を寄贈**

7月19日に、佐田伝統文化保存会がカッパのイラスト入り竹灯籠を美浜東小学校に寄贈しました。
この取り組みは、佐田伝統文化保存会が佐田に伝わる民話「河童の詫び証文」のPRを目的に、児童が描いたカッパのイラスト入り竹灯籠を制作・寄贈したものです。
佐田伝統文化保存会の中道会長は「カッパの民話を知ってもらい、継承してほしい」と話されていました。

情報 BOX

Mihama Information

美浜町役場

〒919-1192 美浜町郷市 25-25
 ☎ 0770-32-1111(代表)
 FAX 0770-32-1115(代表)
 HP <https://www.town.fukui-mihama.lg.jp/>

お知らせ

救急医療週間のお知らせ

毎年9月9日は「救急の日」と定められ、この日を含む1週間(9月3日～9日)は救急医療週間となっています。

昨年は、全国の救急件数が集計開始以来過去最多の約723万件となりました。

「救急の日」や「救急医療週間」では、救急医療や救急業務に対する皆さんの正しい理解と認識を深めるとともに、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的としています。

自分や周囲の人が病気やケガをしたとき、救急車を呼ぼうかどうか迷ったことはありませんか。そういった場合、相談できる窓口があります。救急車は地域の限られた資源です。多くの命を救うため、適正な利用にご協力をお願いします。



■ワークショップとは

ワークショップとは「参加者が主体的に参加する体験型の講座」のことをいいます。

ワークショップでは、他の方の意見を聞き、自分の意見を伝え、本音で話し合うことを通して、今や未来によりふさわしい解決策や納得できる落としどころを見つけていきます。

みはまシナプスプロジェクトでは「正解のない答えをみんなで作っていく」というワクワクする場づくりを目指し、ワークショップを「対話を生み出す場」として位置付けています。

今後もさまざまなテーマでワークショップを開催していく予定です。「私たちが町を動かしている!」という感覚をみんなで体感しましょう。

■実際に行ったワークショップの事例



↑各グループの発表を全員で聞く参加者



↑テーマの共有 ↑オンラインで初挑戦

7月18日に、「にぎわいゾーン」整備に関するワークショップを町役場で開催しました。

このワークショップは、福井大学の野嶋慎二教授や福井大学工学部の学生と合同で開催したもので、当日は公募メンバーを含む町民や応援クルー、オンラインでの参加者等約50人が6グループに分かれ「にぎわいゾーンをどんな場所にしたいか」等をテーマにワークショップを行いました。

幅広い年代や多様な仕事・活動を行っている方が集まることで、さまざまな発想が生まれた一方、「懐かしさ」「夕日」「水場」「チャレンジ」というキーワードが多くのグループで出ました。

同ワークショップで出た意見や福井大学との共同研究の結果をもとに、今後にぎわいゾーンの全体イメージを作っていきます。

次回以降のワークショップへ参加をご希望の方は、町まちづくり推進課までお問い合わせください。

INTERVIEW

ワークショップに参加した方の感想

にぎわいゾーンは、地域の核となる重要なエリアでありながら、豊かな里山風景と趣ある建築が多数存在し、地域資源に恵まれている良いところです。

空家や空地は、有効活用することでにぎわいをもたらすことができるポテンシャルがあると感じました。ワークショップでは、住民の皆さんがこのプロジェクトに期待されていることを実感し、どのグループも活発な議論がされ、まちの課題ややってみたいことの提案等、貴重な意見はとて参考になりました。

これからの計画に反映していきたいと思います。



7月18日のワークショップでファシリテーターを務めた

吉野 壮馬 さん
 =福井大学大学院1年=

※お問い合わせ先 町まちづくり推進課(担当・大同) ☎ 32-6701



●全国版救急受診アプリ(愛称「0助」)

総務省消防庁が作成したウエブ版・スマートフォン版アプリで、症状による緊急性を判断し、救急車を呼ぶべきか迷ったときに役立ちます。

●子ども医療電話相談事業(#8000)

厚生労働省が提供する全国同一の短縮番号サービスで、専門の看護師と通話でき、お子さんの急な症状に対して適切な対処の仕方や病院のアドバイスを受けることができます。

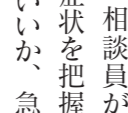
●福井県広域災害・救急医療情報システム医療情報ネット「ふくい」

県内にある医療機関や薬局の検索、役立つ医療情報を提供しています。

●救急安心センター事業(#7119)

電話口で医師や看護師、相談員がお話を伺い、病気やけがの症状を把握して、救急車を呼んだ方がいいか、急いで病院を受診した方がいいか、受診できる医療機関はどこか等を案内します。

美浜消防署 ☎ 32-1190



漏水かな?と思ったら
 ~早期発見・早期修理を~
 水道料金が急に高くなったり、水の出が悪くなったりした場合、漏水の可能性があります。漏水の確認は、水道メーターで簡単にできます。

問 町上下水道課(担当・渡辺)

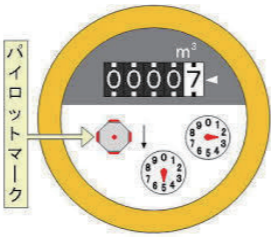
☎ 32-1341



問 町上下水道課(担当・金田)
 ☎ 32-1341

●確認方法

- ① 宅内の蛇口をすべて閉める。
- ② ①の状態水道メーターのバイロット針が動いている場合、水道メーターより先(宅内)で漏水しています。



●宅内漏水の場合

美浜町指定給水装置工事事業者(指定工事店)へ連絡し、調査・修理を依頼してください。ただし、修理費用は利用者の個人負担となります。

●水道料金の一部減免
 やむを得ない漏水については、水道料金の一部を減免できる場合があります。

漏水による減免を受けるには、町指定給水装置工事事業者による修繕の後、修理証明書と減免申請書を提出していただく必要があります。

詳細については、町上下水道課までお問い合わせください。

問 福井地方方法務局敦賀支局

☎ 25-0174



高木 正 氏(日向)



石丸 悦子 氏(山上)

新 人権擁護委員

人権擁護委員は、国民の基本的人権が侵犯されることのないように見守り、もしも侵犯された場合には、その救済のため、速やかに適切な処置をとるとともに、常に自由人権思想の普及高揚に努めています。

前 人権擁護委員の瀬戸弘勇氏(早瀬)・吉本典子氏(菅浜)の任期満了に伴い、7月1日付けで法務大臣から新たに石丸悦子氏(山上)・高木正氏(日向)が人権擁護委員に委嘱されました。

人権擁護委員が代わりました

統計調査を実施します

10月と11月に、次の2つの統計調査を実施します。調査対象となるお宅に調査員が伺いますので、ご協力をお願いします。

●住宅・土地統計調査
 住戸(住宅及び住宅以外で人が居住する建物)に居住している世帯を対象に、総務省統計局が5年毎に実施する調査です。今年10月1日を基準日として実施します。

●漁業センサス
 水産業を営んでいるすべての世帯や法人を対象に、農林水産省が5年毎に実施する調査です。今年11月1日を基準日として実施します。

漁業の生産構造や就業構造、漁村、水産物流通・加工業等について調査し、漁業を取り巻く実態と変化の総合的な把握を目的としています。

問 町まちづくり推進課(担当・山口)

☎ 32-6701

町から発信される防災情報について

町では、防災情報伝達システムを運用しています。このシステムは、Jアラート(※1)から国民保護情報(※2)及び特定の地震津波情報や気象情報等が発表された場合、自動連携により各種情報伝達手段から情報発信を行っています。自動連携により発信を行う情報と情報伝達手段は、次のとおりです。

情報種別	情報伝達手段	情報伝達手段			
		戸別受信機	屋外スピーカー	防災アプリ	行政ホームページ
国民保護情報	ゲリラ、テロ、ミサイル発射情報等	○	○	○	○
地震津波情報	大津波警報	○	○	○	○
	津波警報	○	○	○	○
	津波注意報	○	○	○	○
	震度速報 ※震度4以上	○	○	○	○
	東海地震予知情報 東海地震注意情報	○	○	○	○
気象等の特別警報	大雨単独	状況に応じて町から情報発信		○	○
	大雨以外			○	○
気象警報	気象警報			○	○
気象情報	土砂災害警戒情報			○	○
	記録的短時間大雨情報 竜巻注意情報			○	○



美浜町防災アプリをダウンロード!



ダウンロードはこちら!

※1 緊急地震速報等の緊急情報を、国が人工衛星及び地上回線を通じて、全国の都道府県及び市町村等に送信し、市町村の情報伝達システムを自動起動することで、人手を介せず瞬時に情報を伝達するシステム

※2 外部からの武力攻撃、あるいは大規模テロ等が迫っている時、または発生したときに関係する地域の方に注意を呼びかけるための情報

※お問い合わせ先 町エネルギー政策課(担当・三田) ☎32-6716

(仮称)三十三間山風力発電事業環境影響評価方法書の縦覧と説明会について

株式会社ジャパンウィンドエンジニアリングが、若狭町及び滋賀県高島市の行政界周辺で調査を行っている風力発電事業計画について、環境影響評価における調査、予測及び評価の手法を取りまとめた「環境影響評価方法書」を縦覧し、住民説明会を開催します。

- 縦覧場所 町役場 1階 情報公開コーナー
- 縦覧期間 9月14日(木)～10月18日(水) (土・日・祝日を除く開庁時間内)
- 縦覧書類 (仮称)三十三間山風力発電事業環境影響評価方法書
- 電子縦覧 株式会社ジャパンウィンドエンジニアリングホームページ URL: <https://jwe.co.jp/>
- 意見の受付期間 9月14日(木)～11月2日(木)

■意見の提出方法
 環境影響評価方法書について、環境保全の見地から意見をお持ちの方は、縦覧場所にある用紙に住所・氏名・意見(理由を含む)を記入し、意見書箱に投函してください。

住民説明会を開催
 (仮称)三十三間山風力発電事業環境影響評価方法書の説明会を開催します。

- 日時 9月21日(木)午後7時～
- 場所 町生涯学習センターなびあす コミュニティルーム

※意見書提出及びお問い合わせ先 株式会社ジャパンウィンドエンジニアリング ☎03-6441-3648

農業委員及び農地利用最適化推進委員の改選について

町農業委員会では、7月20日に農業委員の任期満了に伴う改選が行われ、新たな農業委員11人が戸嶋町長から任命されました。

また、農地利用の最適化の推進を目的とした「農地利用最適化推進委員」の任期満了による改選も行われ、新たに7人が農業委員会から委嘱されました。

【美浜町農業委員・推進委員一覧(任期:令和5年7月20日～令和8年7月19日)】 (敬称略)

区域	担当地区	農業委員			最適化推進委員
		会長	地区リーダー	地区担当農業委員	地区担当推進委員
北・南地区	早瀬、笹田、日向 久々子、松原 気山、大藪、金山 久保、郷市	中村博昭 (松原)	浅妻孝彦 (大藪)	松下勝美(久々子)	加茂知之(久々子)
			山本和美(郷市)	福田新八(郷市)	
耳地区	河原市、南市、和田 木野、佐柿、麻生 野口、佐野、上野 興道寺	中村博昭 (松原)	大野克弥 (木野)	大塩友之(佐野)	寺尾和美(佐野)
				軍場康代(興道寺)	中川文雄(興道寺)
東地区	新庄、小三ヶ、宮代 中寺	山本文昭 (竹波)		高木宏和(新庄)	藪ノ内太喜(興道寺)
	坂尻、山上、太田 佐田 北田、菅浜、竹波 丹生			由利博(佐田)	石丸好通(山上)
			山本光雄(菅浜)		桃井和幸(北田)

※お問い合わせ先 町農業委員会事務局(担当・大道) ☎32-6706

美浜っ子子育て応援券の発行について

町では、コロナ禍における物価高騰の影響を受ける子育て世帯に対し、生活の安定と保護者の負担軽減を図るため子育て応援券を発行します。

●交付対象者

町内に住所を有し、18歳以下（※）の児童と生計を同じくする方。（基準日は7月1日）

※平成17年4月2日以降に生まれた方

●金額 1万円分
（500円券20枚）

●取扱店舗

「美浜っ子子育て応援券取扱店」の表示があるお店でのみ利用できます。

●使用期限 12月31日（日）

●その他

応援券は、8月中旬に対象者に送付しましたが、就学等で町外に居住する児童で、交付対象者に監護され、かつ生計を同じくする方については別途申請が必要となります。申請書に必要事項を記入の上、町子ども未来課へご提出ください。申請方法等の詳細は、町ホームページをご覧ください。

（問）町子ども未来課(担当・本間)

☎32-6713

相続登記の申請が義務化されます

令和6年4月1日から、相続登記の申請が義務化されます。

◆相続によって不動産を取得した相続人は、その所有権を取得したことを知った日から3年以内に相続登記の申請をしなければならぬこととされました。

◆遺産分割の話し合いがまとまった場合には、不動産を取得した相続人は、遺産分割が成立した日から3年以内に、その内容を踏まえた登記を申請しなければならぬこととされました。

◆令和6年4月1日以前の相続も義務化の対象となります。相続登記について更に知りたいときは、最寄りの法務局または専門家（司法書士・弁護士）までお問い合わせください。

◆新制度の詳細は、法務省のホームページをご覧ください。お問い合わせください。

（問）福井地方法務局敦賀支局

☎25-0174



法務省ホームページ

～美浜町国民健康保険・後期高齢者医療保険に加入の皆さんへ～
人間ドックの検診費用を助成します

1 助成対象となるドック 1日ドック、2日ドック、脳ドック

2 対象者と募集人数

区分	美浜町国民健康保険加入者	後期高齢者医療加入者
対象者	検診日当日、35歳以上の被保険者で町税及び国民健康保険税に滞納がない世帯の方	検診日当日、被保険者で町税及び後期高齢者医療保険料に滞納がない方
募集人数	各ドック10人	各ドック2人

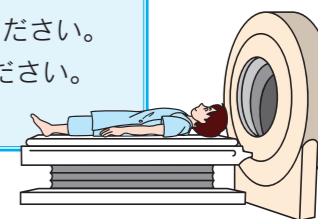
3 助成額 原則として、県内の医療・検診機関で受診した基本料金の2分の1です。ただし、交通費やオプション等による追加料金は対象となりません。なお、助成限度額は次のとおりです。

■助成限度額

性別	1日ドック		2日ドック		脳ドック	
	一般的な検査料金	助成限度額	一般的な検査料金	助成限度額	一般的な検査料金	助成限度額
男性	45,100円	21,000円	71,500円	32,000円	49,500円	22,000円
女性	48,400円	23,000円				

4 申請手続き(助成までの流れ)

- ① 印鑑を持参し、町住民環境課窓口で申請書をご記入ください。
- ② 町から助成決定通知書を送付します。
- ③ 検診機関に予約を取り、受診後に料金の全額を検診機関にお支払いください。
- ④ 受診結果・問診票・領収書・助成金請求書を町住民環境課に提出してください。
- ⑤ 指定口座に、助成金を振り込みます。



5 助成期限 令和6年3月31日までに受診した方

- 6 注意事項
- ① 各ドックを受診する前に、必ず申請をお願いします。
 - ② 助成は、1日ドック・2日ドック・脳ドックのいずれか1つに限ります。
 - ③ 町が行う特定健診を受診する方は助成対象になりません(脳ドックを除く)。
 - ④ 助成期間内に定員に達した場合は、募集を締め切ります。

※お問い合わせ先 町住民環境課(担当・八木/濱野) ☎32-6703

自転車ヘルメット購入費補助金交付要綱の一部改正について

町では、自転車を利用する町民の皆さんにヘルメットの着用を促進するため、ヘルメット購入に係る費用の一部を補助しています。

この度、道路交通法の改正により、自転車のヘルメット着用が児童または幼児から国民を対象に努力義務となったことから、自転車ヘルメット購入費補助金の対象者を全町民とする要綱の改正を行いました。

●金額(変更なし)
購入価格の2分の1
(100円未満切り捨て)

●対象者(改正後)
町内に住所を有する者で、町税等を滞納していない者

●対象ヘルメット(変更なし)
SGマークが貼付された新品の自転車ヘルメット

●その他
申請方法等の詳細は、町ホームページをご覧ください。

（問）町住民環境課(担当・田辺憲虎)

☎32-6703

美浜町役場改修工事のお知らせ

8月から、町役場(庁舎)の外壁補修、屋上防水等改修工事を実施します。

工事期間は、令和6年1月末までの予定です。その間、庁舎全体に足場を設置しますが、業務は通常どおり行います。

期間中は、工事音のほか、外壁補修に使用する薬剤の臭いがある場合があります。そのため、来庁者の安全確保や換気等の対策を行います。

●迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力のほどお願いします。
※工事期間は天候等により延長する場合があります。



↑改修工事を行う町役場(庁舎)

（問）町総務課(担当・浜野)

☎32-6700

募 集 ・ 申 請 等

ふくいの電車・バス「幸福」エピソードを募集します

県では、公共交通機関の大切さを考えるきっかけとするため、県民の皆さんが体験された県内を運行する電車・バスにまつわる心あたたまるエピソードを募集しています。

- 募集期間 9月29日(金)まで
- 字数 200字程度
- 賞 一般・大賞 商品券5万円 他 高校生以下・大賞 図書カード 1万円 他

●応募方法 原稿用紙(任意様式)と応募用紙を以下の宛先にメールまたは郵送

●応募先 ▼郵送 〒910-8580 福井市大手3丁目17-1

福井県庁未来創造部新幹線・交通まちづくり課「ふくいの電車・バス思い出エピソード」作品募集係 ▼メール carsave@pref.fukui.lg.jp

（問）県交通まちづくり課 ☎0776-20-0774

東京美浜会総会・懇親会の開催
及び会員募集について

首都圏在住の美浜町出身者が集う「東京美浜会」をご存知ですか。
東京美浜会は、会員相互の親睦と美浜町の発展に貢献することを目的に35年前に結成し、地元で活躍している方と連携を図りながら町の発展に少しでも寄与できるような活動を行っています。
当会では、首都圏に不慣れな方のサポートや故郷について語りたいたいがチャンスがないという方への機会提供も行っていますので、お気軽にご相談ください。

◆第35回東京美浜会総会・懇親会
●日時 10月21日(土)
正午～午後2時50分

●会場 東京都港区 明治記念館

●費用 非会員…8,000円
◆アピールパネル&アピールタイム
総会後に開催予定の懇親会で、ビジネスやボランティア、イベント等、故郷で活躍されている方の情報発信やパネル展示、スピーチができます。

●申込期限 10月10日(火)

●申込先 東京美浜会事務局
メール:mihamakai@gmail.com

●展示料金 無料(会への参加料金別)

●展示物 ポスター等

●その他 詳細は、メールにてお問い合わせください。



イベント・行事

ふくい健康長寿祭2023を
開催します

いつまでも健康で生きがいのある暮らしができることを目指して「ふくい健康長寿祭2023」を開催します。

体験コーナーや健康チェックに、ぜひご参加ください。

●日時 9月24日(日)

●場所・内容
▼はあとびあ
・体験
ふまねつと体験、脳トレ体験
・健康チェック
骨密度測定、呼吸機能検査、血管年齢測定等
・趣味の作品展
老人クラブ会員の日本画・書・彫刻等の作品展示

▼美浜町西郷健康ひろば
・ノルディック・ウォーク体験

●費用 無料

●対象 県民(年齢不問)

●申込 申し込みが必要です。

福井県社会福祉協議会地域福祉課
☎0776-24-2433

●搬入方法
10月20日までに左記までお送りください。
(送付先)
〒107-8507
東京都港区元赤坂2丁目2-23
明治記念館東京美浜会会場宛て

◆懇親会特別企画
●若狭国古城歴史資料館
館長 大野康弘氏講演会
●美浜町や福井県の魅力を県内外に発信している若手チーム「Route21ちゃんねる」とのパネルディスカッション

◆会員募集中
東京美浜会では、若狭地区内はもとより、福井県内出身者との交流を深めています。友人や家族等、若狭地域や福井県に興味がある方は、ぜひご参加ください。



↑第34回東京美浜会総会

東京美浜会広報担当
☎090-9308-7395
メール:mihamakai@gmail.com

教室・講座・説明会等

美浜町子ども・子育て
サポートセンターの催しを
お知らせします

◆育児講座「ベビーヨガ」
●日時 9月12日(火)
午前10時30分～11時15分

●会場 はあとびあ

●対象 お子さんの首が座っている町内在住の在宅児親子10組

●内容 親子で楽しく体を動かしましょう。

●講師 伊林理恵氏
(ヨガインストラクター)

●申込 8月28日(月)～
9月8日(金)
午前10時30分～11時

◆さくらんぼひろば「消防署見学」
●日時 9月19日(火)

●集合場所 町子ども・子育てサポートセンター

●対象 町内在住の在宅児親子15組

●内容 消防署までお散歩し、消防車や救急車を見せてもらい楽しみましょう。

●申込 9月4日(月)～15日(金)
町子ども・子育てサポートセンター(担当:山田)
☎32-0192

原子力規制委員会行政職員を
募集します

●受付期間
9月1日(金)～10月23日(月)

●募集職種
・原子力検査官
・原子力防災専門官 他

●求める人材
・原子力施設の運転、保全、検査、設計等に専門性がある方
・放射線廃棄物管理・処分に専門性がある方
・火災、防災、放射線、土木、建築等に専門性がある方
・その他

※詳細は、原子力規制委員会ホームページをご確認ください。



募集ページはこちら(9月1日から公開予定)

原子力規制庁人事課採用担当
☎03-3581-3352



園芸LABOの丘の催しを
お知らせします

◆花束ハーバリウムづくり
広口の筒型ポトルに閉じ込めたのは豪華な花束。オイルの中でふわっと花が広がる姿は圧巻です。

●日時 9月2日(土)・10日(日)
午前10時～11時30分

●費用 1,300円

●定員 各日10名

●申込 予約が必要です。

◆2色のポテトコロッケランチ
紫色のじゃがいもと男爵を使った2色のコロッケのランチを作ります。

●日時 9月3日(日)
午前10時～正午

●費用 1,500円

●定員 各日8家族(グループ)

●申込 予約が必要です。

※グループの場合は、2～3名でお申込みください。

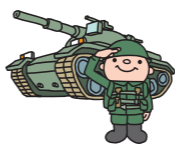
9月は、毎週土曜日のトマトの収穫体験等、さまざまなメニューを用意しています。詳細は、ホームページをご覧ください。

なお、予約が必要となるメニューは、開催日の1週間前までに、FAX(47-6163)またはメール(engai-ken@pref.fukui.lg.jp)で申し込みください。

福井県園芸体験施設(園芸LABOの丘)
☎47-6162

2023年度自衛官等を
募集します

募集種目	資格	受付期間
自衛官候補生	18歳以上33歳未満	年間を通じて募集中
一般曹候補生	18歳以上33歳未満	9月5日(火)まで
航空学生	●海上:18歳以上23歳未満 ●航空:18歳以上21歳未満 ※高卒(見込含)または高専3年次修了者(見込含)	9月7日(木)まで



ホームページはこちら

自衛隊敦賀地域事務所
☎23-2026

認知症講演会を開催します

●日時 9月20日(水)
午後1時30分～3時

●会場 なびあす

●対象 どなたでも(町民限定)

●内容 認知症を理解し、みんなで支え合う社会を学びましょう。

●講師 藤本寛巳氏(敦賀温泉病院嶺南認知症疾患医療センター診療課長)

●費用 無料

●申込 左記まで申し込みください。

町健康福祉課(担当:山本)
☎32-6704

悩みごと総合相談会を開催します
9月の自殺予防週間に合わせ「悩みごと総合相談会」を開催します。法律やこころ、就労、依存症等、さまざまな相談が可能です。

●日時 9月9日(土)
午前9時～正午

●会場 二州健康福祉センター

●対象 相談を希望される方

●費用 無料

●方法 対面による個別相談

●その他 申し込みが必要です。

二州健康福祉センター
☎22-3747

美浜発電所の状況について



美浜1号機	廃止措置中(平成29年4月19日～)
美浜2号機	廃止措置中(平成29年4月19日～)
美浜3号機	運転中(令和4年9月26日～)

美浜発電所3号機の安全性向上評価届出書について

美浜3号機は、2011年に発生した福島第一原子力発電所事故を踏まえた安全性向上対策を行い、2021年に再稼働しています。その後、初めての定期検査が実施され、現在も運転が継続されています。この定期検査の後、今年3月に関西電力は「安全性向上評価届出書」を原子力規制委員会へ提出しています。今回は、この安全性向上評価の概要についてお知らせします。

安全性向上評価

安全性向上評価とは、原子炉施設における安全性の向上を図るため、原子力事業者自らが原子炉施設の全体に係る安全性について、総合的な評価を定期的に行う制度です。

今回の評価では、保安活動の取組状況について、関西電力による操作や設備のメンテナンス、自然災害や原子力災害に対する備え等、安全を確保する上で重要な8つの活動分野について、原子炉をはじめとした設備だけではなく、手順書の整備状況等が幅広く確認されています。

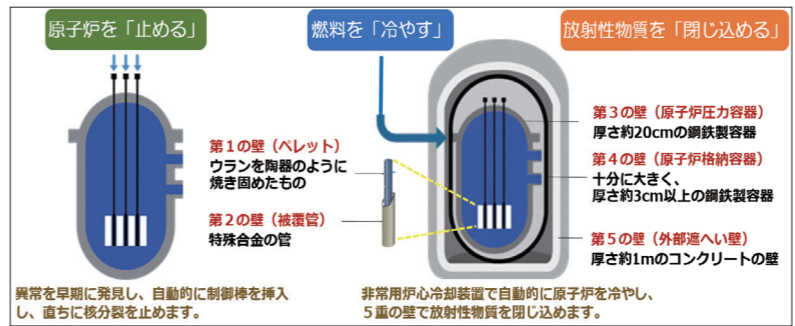
他にも「確率論的リスク評価」及び「安全裕度評価」を行い、美浜3

号機の安全レベルが定量的に分析(数値化)されています。

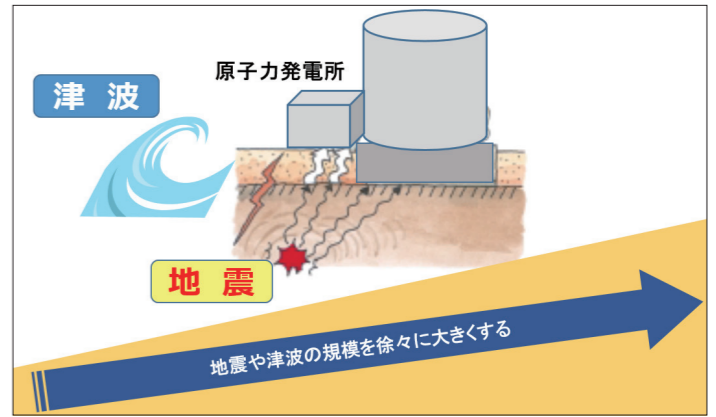
確率論的リスク評価とは、原子炉の安全を守るための「止める」、「冷やす」、「閉じ込める」機能が喪失し、燃料損傷や格納容器の機能喪失に至る確率等を定量的に評価する方法です。

安全裕度評価とは、発電所が設計基準を超える地震や津波に襲われた場合を想定し、その規模を徐々に大きくした場合における安全上重要な施設や機器等の耐久性について、安全裕度を定量的に評価する方法です。

【確率論的リスク評価】



【安全裕度評価】



この評価の結果、福島第一原子力発電所事故後に実施した安全性向上対策により、当該事故前と比べ「燃料が損傷する確率」は約50%、「格納容器が破損し放射性物質が放出される確率」は約10%に減少するとされています。

◎安全性向上評価制度の導入
2017年12月の「核燃料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律」及び「実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則」の改正施行に伴い導入された制度。原子炉ごとに、定期事業者検査が終了した日以降、6カ月以内に安全性向上評価を実施し、評価の結果等を原子力規制委員会へ届出することとされています。

昔話とふるさと よもやま話 (137)

新・文化遺産カード
～越前朝倉氏ゆかりの付城と文物～

町では、3月から新しく文化遺産カードを5種類発行しました。これにより、文化遺産カードは合計43種類となり、若狭国吉城歴史資料館では今年発行した2種類を含め、合計9種類を配布しています。

今年から配布を開始した2種類は「中山の付城」と「青磁浮牡丹皿・五百体愛染明王図」という越前朝倉氏にゆかりのあるものです。今年、朝倉氏滅亡450年にあたり、

「中山の付城」は、越前朝倉勢が国吉城攻めのため、永禄7年(1564)に太田の芳春寺山(中山)に築いた監視の城です(国吉籠城記)。天正元年(1573)、朝倉氏が滅亡すると織田信長によって破却されました(信長公記)。その構造は、朝

倉氏の築城技術を色濃く残すと評価されてきました。しかし、国吉城があった西側よりも、越前方面や丹後街道が通っていた東・北側に対し、厚い防備を固めたように見えるため、再考の余地がありそうです。

次に「青磁浮牡丹皿・五百体愛染明王図」ですが、これらは天正元年に国吉城主粟屋越中守が織田信長に従って越前国一乗谷(福井市)を攻めた際に持ち帰り、青蓮寺(佐柿)に寄進した品々です。

青磁浮牡丹皿は、見込みに牡丹の花が刻まれ、水を入れると牡丹の花が咲いたように見えると伝わり、箱書きには「粟屋越中守御寄付」とあります。一乗谷朝倉氏遺跡では、地下式倉庫跡から輸入陶磁器の優品が数多く出土しましたが、青磁器の出土は極めて少ないものでした。そのため、本皿は450年前の朝倉氏の栄華を伝える逸品として、大変貴重な伝世品です。本皿は町有形文化財に指定されており、現在当館で展示しています。

五百体愛染明王図は、縦55・2cm×横27・4cmのさほど大きくない画面に1列20体、25列計500体が整然と描かれています。本図は弘法大



師筆と伝えられていますが、鎌倉時代の作であると考えられます。本図は福井県有形文化財に指定され、現在県立若狭歴史博物館に寄託されています。

文化遺産カードは、各地の文化遺産の背景にある歴史や文化にふれるきっかけになればという思いから生まれました。当館では文化遺産カード以外にもこれまで国吉城や国吉籠城戦に関連する朝倉氏の付城の「御城朱印(御城印)」を配布してきました。ぜひ、御城朱印と合わせて文化遺産カードも集めて国吉城と佐柿、そして美浜町の歴史と文化に思いをはせてみてください。

(若狭国吉城歴史資料館)

文芸欄

短歌

かをり歌会美浜支部

海風の入りくる部屋に蟬の声
久々となる祭り近づく
川崎 和美(久々子)

久しぶり息子帰り来て一夜さを
語り尽くせり白み行くまで
松下 幸子(久々子)

あかりみゆ宇波西神社の王の舞
来る年こそと氏子待ち居る
三宅 宏(大藪)

新緑の木漏れ日映ゆる浦見川
ソーラ遊船波を引き連れ
高木 勝美(新庄)

山茶花や雪見す梅に桜バラ
つと合歡咲き夕日に菜菔
田波 耕(竹波)

跡継ぎに孫を口説きて呼び戻し
更なる難儀い嫁見るまで
山本 善昭(竹波)



母子手帳アプリ「母子モ」をご利用ください

「母子モ」は、紙の母子健康手帳の機能を補い、妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援ができるアプリです。

9月1日からは、地域登録をすれば美浜町からのお知らせを確認できるようになります。

妊娠中や小さいお子さんがいる保護者の方は、ぜひご利用ください。

■ 母子モでできること

- ・妊婦健診の記録
- ・できたよ記念日
- ・子育てや育児に役立つ情報等が取得
- ・妊娠中の体重グラフ
- ・予防接種管理(※)
- ・子どもの発育曲線
- ・乳幼児健診の記録
- 可能

※生年月日や接種履歴から適切な予防接種の時期を自動的に算出し、接種予定日が近づくと、プッシュ通知でお知らせします。



ダウンロードはこちら



■ 利用料金

無料(通信費のみ自己負担)

※ お問い合わせ先 町子ども・子育てサポートセンター(担当・浜野) ☎32-0192

ひきこもり等の悩みをひとりで抱え込んでいませんか?



厚生労働省は、ひきこもりの定義を「社会的参加(就学、就労、家庭外での交遊等)を回避し、原則的には6カ月以上にわたって、おおむね家庭にとどまり続けている状態」としています。

そのような状態になった背景は人それぞれ異なり、回復にはゆっくと時間をかけることが大切です。

町では、ひきこもり等の悩みを相談するきっかけとなるよう相談会を開催しています。悩みごとやちょっと話を聞いてほしいこと等がありましたら、ぜひこの場をご活用ください。

相談会は事前予約制です。電話または下記の二次元コードからメールでご予約ください。

○相談会(無料)

日時：9月12日(火)、13日(水)、14日(木)

①午後1時30分～2時30分 ②午後2時30分～3時30分

※①または②のどちらかの時間をお選びください。

会場：9月12日(火) 美浜町生涯学習センターなびあす 研修室1.2
 9月13日(水) 美浜町保健福祉センターはあとびあ 会議室3.4
 9月14日(木) 美浜町生涯学習センターなびあす 会議室1.2



メールでの予約はこちら

※相談には社会福祉士、保健師等が対応します。相談内容等の秘密は厳守しますので安心してご相談ください。

※お問い合わせ先

町健康福祉課(担当・中村/磯辺) ☎32-6704

9月は げんげん歩楽寿 推進強化月間です!



げんげん歩楽寿とは、「げんげん運動」に野菜の摂取と運動の推進をプラスした健康づくり運動です。

毎年9月を推進月間として、町民の皆さんに「げんげん歩楽寿」を推進しています。

この機会に、できることから健康づくりに取り組んでみませんか。

■ げんげん歩楽寿 7つの健康行動 ~あなたはいくつ心がけていますか~

- 1 減塩の食事を心がけます
- 2 1日3食よく噛んで、自分に合った量の食事を取ります
- 3 毎日の生活の中に手軽な運動を取り入れます
- 4 油脂のとり方を工夫します
- 5 毎食片手のひら一杯の野菜を食べます
- 6 間食の食べすぎに注意します
- 7 年1回健診を受けて体のチェックをします



健康・福祉・子育てに関する情報をお知らせします。

※お問い合わせ先 町健康福祉課(担当・中西) ☎32-6704

健康づくり情報やお知らせ、野菜を使った簡単レシピ等、気軽に見られる情報を発信しています。フォローをお願いします。

■ 野菜の摂取を増やすために ~野菜一鉢をプラスすることから始めませんか~



パプリカ・人参・きゅうりのピクルス



ピーマンとじゃこの和え物



人参、もやし、きゅうりのナムル

推奨する1日の野菜摂取量 350g



野菜を一鉢プラスすることで約70gの野菜が取れます。1日に必要な野菜350gを摂取するためには、小鉢にすると5皿分が必要になります。朝食1皿、昼食2皿、夕食2皿を目安にしましょう。

■ 野菜を使った簡単レシピ ~河村学園 河村 幸江 氏 監修~

◎くぼ丸なすのきのこみそボード

【材料】

- くぼ丸なす 1・1/2個
- 油 大さじ3
- きのこ 50g (えりんぎ・しめじ・しいたけ等)
- 油 大さじ2
- みそ 大さじ2
- 砂糖 大さじ2
- 酒 大さじ2
- 青ねぎ 1/2本

※通常のなすでも調理できます。

【作り方】

- 1 くぼ丸なすを縦半分に切り、内側に隠し包丁を入れて、水の中でアクを抜く。
- 2 ナスの水気を切り、フライパンに並べて上から油を回しかける。フタをして中火で13分焼く。
- 3 きのこを小さく切り、油でいためてから調味料を加える。
- 4 なすの上に③をのせ、最後に青ねぎを小口切りにして飾る。



慶弔

7/1～7/31受付分
(敬称略)

◎ご誕生

氏名	性別	父・母	住所
河瀬 叶 隼	女	健太郎・優子	佐田
藤本 蒼 大	男	敦士・順子	佐田
武田 紘 佳	女	忠大・洋子	久々子
熊崎 千 凌	男	淳哉・有加	佐田

◎ご結婚

氏名	住所
浜野 真太郎 & (的場) 舞子	早瀬

◎おくやみ

氏名	住所	年齢	届出人
佐竹 武 夫	麻生	93	佐竹 康 幸
橋本 淑 子	久々子	83	橋本 久
満田 綾 子	佐田	85	満田 重 利
中村 きみ子	日向	89	中村 和 弘
塩野 薫	菅浜	66	塩野 正 人
森川 治	金山	93	森川 政 子

※氏名に旧字体や俗字等が含まれている場合は、常用漢字で掲載しております。

町人 まちびと さん

7月22日、23日に開催された第43回全日本中学選手権競漕大会の開会式で選手宣誓を行った
(関連第8・9頁)

美浜中学校ボート部
男子キャプテン
石丸 風芽 さん
(山上・写真左)



美浜中学校ボート部
女子キャプテン
森田 心々夏 さん
(野口・写真右)

*大会を終えた今の気持ちを教えてください。

【石丸さん】去年の全日本中学選手権競漕大会では、準優勝と悔しい思いをしたので、今年は必ず優勝しようと1年間練習に励んできました。本当に優勝できて嬉しいです。

【森田さん】レースでは、自分たちの力を出し切ることができました。目標は優勝でしたが、3位という結果を残せて良かったです。いつか日本一を取りたいと思います。

人口の動き

人口総数	8,885人(-17)
男	4,364人(-13)
女	4,521人(-4)
世帯数	3,628世帯(-5)
出生	4人 死亡 9人
転入	17人 転出 29人
みはま応援クルー(※)	256人(+2)
マイナンバーカード交付率	87.1%
令和5年8月1日現在※()は前月比	

※町が公認登録する「町外に住みながらも本町を愛し、応援してくださる方」のこと。



町の情報や応援クルーの
情報はこちら!



9月に満1歳になる子どもたちを紹介します。

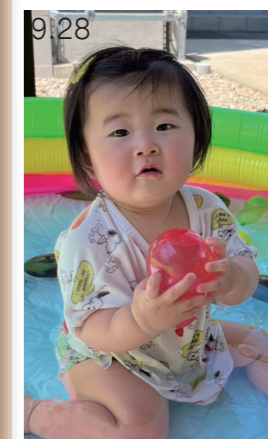
「はじめてバースデー」への掲載案内は、誕生月の前々月に送付しています。ぜひ、ご応募ください。



9.4
友岡 杏音ちゃん(河原市)
靴を履いて散歩したいよ♡
歩けるよっになったよ♡
父 拓也さん
母 茜さん



9.23
今安 央佳ちゃん(松原)
おてんば娘に成長中♡
じーじ、ばーばまた遊んでね♡
父 亮介さん
母 友紀さん



9.28
下畑 玲依ちゃん(山上)
お歌が大好き!
ねえねえいつも遊んでくれてありがとう♡
父 慶晃さん
母 みきさん

Q 広報クイズ

広報みはま9月号を読んで、①～④番の丸印をひらがな・カタカナでうめてください。小さい「っ」や「ゆ」、「・」、「が」、等も一文字とします。「●」の文字を①番から順に並べると、ある言葉になります。どんな言葉でしょう。

- ①水道検針に○○○○○○○○●○○○○○
②○○○○○○○○●○○○○○○○補助金
交付要綱の一部改正について
③○○○○○○●○○○○○が義務化されます
④○○●○○○○○○○相談会を開催します

●応募方法

はがきに答え、住所、氏名(広報を読んだ感想も大歓迎!)を書いて、「広報みはま広報クイズ」係(〒919-1192美浜町郷市25-25)まで送ってください。メールで応募される方は、次のアドレスに送信してください。

【メールアドレス】
kouhou-mihama@town.fukui-mihama.lg.jp
【二次元コード】



締め切りは、9月8日(金)(消印有効)です。正解者の中から抽選で5人の方に記念品をお送りします。





- 8月号の答え なつやすみ
- 応募者総数は9人で全員正解でした。当選の発表は、記念品の発送をもってかえさせていただきます。

■くらしのカレンダー■

令和5年9月

1 (金)	八朔祭(新庄) ※神事のみ	17 (日)	9:00～ハートフル朝市 (道の駅若狭美浜はまびより)
2 (土)	美浜中学校文化祭(美浜中学校)	18 (月)	敬老の日
3 (日)	美浜中学校体育祭(美浜中学校グラウンド) 八朔祭(日向) 9:00～ハートフル朝市 (道の駅若狭美浜はまびより)	19 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 13:00～弁護士法律相談(はあとびあ) 13:30～「こころの相談室」※障がい者(児)相談 (はあとびあ)
4 (月)		20 (水)	古紙 (東地区)
5 (火)	9:30～保育園開放(せせらぎ保育園) 13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 13:30～「こころの相談室」※障がい者(児)相談 (はあとびあ)	21 (木)	
6 (水)	8:30～総合健診[生活習慣病予防健診・肺・胃・ 大腸がん検診・肝炎検査] (北西郷公民館)	22 (金)	
7 (木)	10:00～ミニさくらんぼ(けやき台第1集会所) 古紙 (耳地区:河原市・南市・栄区を除く)	23 (土)	秋分の日
8 (金)	9:30～保育園開放(あおなみ保育園)	24 (日)	9:00～ハートフル朝市 (道の駅若狭美浜はまびより)
9 (土)	10:00～結婚相談(はあとびあ)	25 (月)	
10 (日)	9:00～ハートフル朝市 (道の駅若狭美浜はまびより)	26 (火)	8:30～総合健診[生活習慣病予防健診・肺・胃・ 大腸・乳がん検診・肝炎検査] (はあとびあ) 13:00～動脈硬化予防健診・がん検診[大腸・ 子宮・乳] (はあとびあ) 13:00～心配ごと相談(はあとびあ)
11 (月)		27 (水)	13:30～離乳食講習会(はあとびあ)
12 (火)	13:00～心配ごと相談(はあとびあ) 13:00～司法書士法律相談(はあとびあ) 19:30～町民人権講座(なびあす)	28 (木)	13:00～1歳6か月児健診 (子ども・子育てサポートセンター)
13 (水)	9:30～保育園開放(みずうみ保育園) 古紙 (北・南地区)	29 (金)	
14 (木)	古紙 (河原市・南市・栄区)	30 (土)	
15 (金)		9月の納税 [納期限 10/2(月)] ※納付は口座振替が便利です。 町県民税 (2期)、国民健康保険税 (3期)	
16 (土)			

●イベント ●健康診査・検診 ●子ども行事

- 行事の予定は、8月16日現在のものです。一部変更になる場合がありますので事前にご確認ください。
-  網かけの日は、役場はお休みです。
-  古紙 は古紙回収日、後に続く()内は回収地区です。
-  ごみの休日受入は、第3日曜日以外の土日祝日(5月3日～5日、12月31日～1月3日を除く)の午前8時30分～正午です。
-  休日の当番医に関するお問い合わせ先 町役場 ☎32-1111(代表) 美浜消防署 ☎32-1190

美浜町防災アプリのダウンロードをお願いします

美浜町防災アプリでは、防災情報や停電情報、おくやみ等の生活に関わる緊急情報等をお知らせしています。ぜひ、ダウンロードの上、ご利用ください。

ダウンロードはこちら



こんにちは
まちはま
まちづくり推進課です。

今月号では、移住をテーマに特集記事を掲載しました。

移住をする理由は人それぞれですが、慣れ親しんだ地域を離れ全く知らない地域に移り住むのは、誰もが勇気のいることだと思います。

取材を進める中で分かったことは、人は1人では生きていけないということ。家族や友人、地域の方に支えられ、生活できていることをつくづく実感しました。

無意識に生活していると、人への感謝の気持ちを忘れがちですが、どんなときでも「おかげさま」の気持ちを忘れず、感謝の気持ちを言葉にしていきたいと思えます。

最後になりますが、今回の編集にあたり、お忙しい中、快く取材に応じてくださった方々に心より感謝します。ありがとうございました。(音)